

E2 科目について（2）

【ご意見・ご要望】（投稿日：2017年10月15日）

E2 科目につきまして、ご回答ありがとうございます。しかし、納得のいかない点があるため、再度整理して意見致します。

私の意見は、以下の通りで、(1)の方が優先順位が高いです。(2)の意見はあくまで妥協したもので、(1)を強く推します。

(1) すべてのE2科目に人数制限を行うことはやめてほしい。

(2) もしすべてのE2科目に人数制限を行うのであれば、来年からではなく十分にE2科目の科目数が増えてからにしてほしい。

(1)の意見の根拠は次の通りです。

[1] 少人数授業を行いたい先生は既に人数制限を行っている。つまり、すべての科目に人数制限を課さなくても、今のままでも、先生の意志で人数制限は可能である。

[2] 人数制限に反対しているE2科目担当の先生もいる。

[3] 大人数の授業でも実質的な英語力強化は可能である。一方的に講義を聞くような授業でも、英語リーディングや英語ライティング・リスニングの授業よりも英語力が強化されている実感がある。また200人以上の授業でも発言することは可能であるし、逆に12人程度で90分間ディスカッションを行う授業でも人によってはあまり発言しないので、人数は根本的な問題ではない。

[4] 2回生以降は特に受講しにくくなる。学部の専門科目が全て日本語であるため、2回生以降もE2科目を受講したい。しかし学部の専門科目が時間割を埋めてしまうため、選べるE2科目は空いたコマで開講されているものに限られてしまう。それが抽選で外れてしまうと悲しい。

これ以上抽選を増やさないでほしいと思っています。留学すればいいじゃないかと仰るかもしれませんが、日本にいる間はE2科目が最適なトレーニング手段です。

【回答】（回答日：2017年10月25日）

（国際高等教育院事務部）

貴重なご意見をありがとうございます。

E2科目を担当される外国人教員の中には、ディスカッション中心の授業構成を希望し、少人数の学生定員を設定されることがあります。しかし、少人数の科目が多くなると、

学生の履修機会が少なくなることから、まず下限について検討しました。その際、少人数教育科目として実施している ILAS Seminar-E2 は、25 名以下の範囲で定員を設定することとなっているため、一般の講義科目と ILAS Seminar-E2 を差異化するためにも、最低 25 名以上で下限を設定することとしました。

一方、上限については、前回回答のとおり「英語力強化に資する科目」という E 科目の趣旨から、60 名程度を上限とするクラスサイズが授業運営に適していると判断いたしました。仰る通り、クラス人数に関わりなく個人の意識次第で英語力強化は可能ですが、全ての学生が履修する全学共通教育において、全体的に英語力の底上げに期待し、上限についても人数制限を設けることとしました。

なお、今年度の履修状況を見ると、60 名を超える科目はごく少数です。やむを得ず抽選とせざるを得ない科目もありますが、先に述べました E 科目の趣旨をご理解いただき、科目履修してくださるようお願いいたします。